

2025 年 6 月 16 日

—東北電力が「土木学会賞」「地盤工学会賞」を初受賞—
女川原子力発電所防潮堤かさ上げ工事
～国内最高水準・海拔約 29m の防潮堤が高評価～

当社が、鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：天野 裕正、以下「鹿島建設」）と共同で進めたプロジェクトである女川原子力発電所の「防潮堤かさ上げ工事」（以下「本工事」）が、2024 年度の土木学会「技術賞」および地盤工学会「技術業績賞」を受賞いたしました（鹿島建設と共同受賞）。いずれの賞も、土木・地盤分野における優れた技術や、社会の発展に大きく寄与したことが認められたプロジェクトに贈られる最高峰の技術賞であり、当社としては初の受賞となります。

本工事は、東日本大震災の教訓と最新の科学的知見を踏まえ、津波や地震などの自然災害に対する安全性をさらに高めることを目的に実施されました。完成した防潮堤は、海拔約 29 メートルという国内最高水準の高さを誇り、漂流物（船舶・車両等）の衝突や地盤の液状化といった複合的なリスクにも対応できるよう設計されています。

2013 年 5 月に着工した本工事は、工事途中での構造変更（当初設計よりもさらに安全性を向上させるための追加補強）や、施工済みの杭の深部の地盤改良など、当社にとって前例のない、多くの困難が伴う難易度の高いものになりました。こうした中、各種試験や施工方法の工夫により、品質と安全を確保しながら、2024 年 3 月に完成いたしました。

このたびの受賞は、上記のような自然災害に備えた原子力発電所の安全向上の取り組みや、課題克服に向けた工夫や技術開発が、社会や技術の発展に大きく貢献したものととして高く評価された結果です。

当社といたしましては、引き続き、「原子力発電所の安全対策に終わりはなし」という確固たる信念のもと、さらなる安全性の向上に取り組んでまいります。

【女川原子力発電所 土木建築部 土木グループ 担当者のコメント】

このような、栄誉ある 2 つの賞を受賞できたことを、大変嬉しく思います。

今回受賞した防潮堤は、10 年以上にわたる工事を経て完成したもので、その間に携わった多くの関係者の努力と技術の結晶です。

今後も、最新の知見を取り入れながら、原子力発電所の安全性の向上はもとより、技術や社会の発展にも貢献できるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。

以 上

（別紙）女川原子力発電所 防潮堤の概要

【授賞式の様子】



地盤工学会賞授与式

(左から)

鹿島建設 技術研究所 土質・地盤グループ チーフ・上席研究員 岡本道孝 氏、
地盤工学会長 渦岡良介 氏、東北電力 土木建築部部長 尾崎充弘 氏



土木学会表彰式

(左から)

東北電力 土木建築部部長 尾形芳博 氏、土木建築部部長 尾崎充弘 氏